

メルマガ 「いいテク・ニュース」 季語に遊ぶ 2026 年 9 月 29 日 (Vol.197)

「竹久夢二、作品と俳句」-其の参

「竹久夢二、作品と俳句」-其の参



https://commons.wikimedia.org/wiki/File:TakehisaYumeji-1924-Senowa-Venetian_Barcarolle.png

セノオ楽譜の『ヴェネツィアの船唄』の表紙 1924 年 夢二郷土美術館所蔵

明治末期から大正時代に活躍し「大正浪漫」を代表する画家・詩人・グラフィックデザイナーであった竹久夢二。

憂いを帯びた「夢二式美人」で一世を風靡し、水彩画・油彩画・木版画、さらにデザインの分野や挿絵まで幅広く作品を残し、詩や童謡など文芸面においてもその才能を発揮しました。大流行した「宵待草」は夢二の作詞によるものです。

恋多く、漂白の人生を歩み、現在においてもその軌跡は注目されています。

＜1884 年-1934 年(明治 17 年-昭和 9 年)＞

昭和 9 年 9 月 1 日没。49 歳 11 か月の生涯を閉じる。

「季語に遊ぶ」今回は「竹久夢二・作品と俳句」其の参として大正五年から昭和二年に描かれた「セノオ楽譜」から今回は 3 作品を紹介し、その作品に合う俳句を選びました。

「セノオ楽譜」は、妹尾幸陽（せのおこうよう 本名 幸次郎：1891-1961）が洋の東西の名歌のかずかずを、古きも新しきも問わず紹介するためにはじめた音楽出版社の出版物です。

この楽譜は、夢二の他にも有名画家である杉浦非水や岡田九郎なども腕をふるいました。

しかし、今は夢二の作品のみが名高くなっています。

夢二は大正五年（1916 年）から昭和二年（1927 年）の間に、280 枚のセノオ楽譜の表紙画を描いています。

浮世絵、デフォルメした心象画、目のさめるような抽象画、大胆なデザイン画など、さまざまな分野、手法を駆使し、歌の心を描いて今なお古さを感じさせません。

また、タイトルのレタリングにもすぐれた感覚と創意工夫をみることができ、グラフィックアートの先駆者といえます。

お楽しみください。

1. 『歌劇カルメンハバネラの歌』



https://commons.wikimedia.org/wiki/File:TakehisaYumeji-1916-Senowo-Carmen_Habanera.png

セノオ楽譜の『歌劇カルメンハバネラの歌』の表紙 1916年 夢二郷土美術館所蔵

1. 『歌劇カルメンハバネラの歌』

『カルメン (Carmen)』はジョルジュ・ビゼー (1838-1875) が作曲した世界で最も人気のあるオペラの一つです。

その第 1 幕でヒロイン、カルメンが歌うアリア「ハバネラ (恋は野の鳥)」はキューバの首都ハバナ生まれのゆったりとした 2 拍子 (4 分の 2 拍子) のリズムと、半音階で下降する官能的な旋律が特徴です。

情熱を秘めながら、歩くような落ち着いたテンポで進み、聴くものをじわじわと引き込む独特の気だるさと色気を持ち合わせています。

これが、カルメンの気まぐれな性格や抗えない魅力を表現しています。

メロディーは哀愁を帯びた二短調を中心に展開しつつ、合唱の部分などで長調に転じることで、陰影に富んだコントラストを生み出しています。

カルメンが歌う官能的なソロに対し、周囲の兵士や工場の労働者たちの合唱がエコーのように響き合い、場面を盛り上げていきます。

堀内敬三の訳詞の 1 番の一部を掲げておきます。

「恋は野の鳥 気まぐれ 気ままよ」ではじまり

「恋はジプシーの子よ

法も理屈もなしよ」といったフレーズなどで構成される情熱的で、気まぐれな恋を歌った印象的な訳詞となっています。

ここでは、「カルメン」+季語を詠んだ句を取り上げました。

昼からはカルメンとなるチューリップ

次井義泰

季語「チューリップ」で晩春

カルメンの髪 of 薔薇より散りそめし

後藤夜半

季語「薔薇」で初夏

カルメンの国くれなゐの返り花

鷹羽狩行

季語「返り花」で初冬

ノラよりもカルメンが好き大根（だいこ）煮る

安江利子

季語「大根煮る」で仲冬

2. 『ヴェニス船唄』



https://commons.wikimedia.org/wiki/File:TakehisaYumeji-1924-Senowo-Venetian_Barcarolle.png

セノオ楽譜の『ヴェニス船唄』の表紙 1924年 夢二郷土美術館所蔵

2. 『ヴェニス船唄』

西洋の舟唄とは、船頭や漁師が舟を漕ぎながら歌う労働歌、または水や舟をテーマにした楽曲やクラシック音楽の形式（バルカロール）のことです。

『ヴェニスの船唄』はゴンドラ（手漕ぎ舟）の船頭が歌う旋律に由来し、波の揺れを表す穏やかな 6/8 拍子のリズムと哀愁のあるメロディーが特徴です。

「舟唄」とつく楽曲は、ショパンやメンデルスゾーンなどの作曲家がピアノ曲や声楽曲を作曲しています。

その中で、メンデルスゾーンの『無言歌集』にある『ヴェニスの舟歌（ヴェネツィアのゴンドラの歌）』を小泉洽が訳詞し、夢二が表紙を担当してセノオ楽譜として出版されました。

メンデルスゾーンは 1930 年の秋、ヴェニスを訪れ、その魅力に酔いしれ、ヴェニスのゴンドラ漕ぎたちについて「ゴンドラ漕ぎたちが、互いに呼びかけあい、灯りが水に深くきらめき、誰かがギターを弾き、そして歌う。素晴らしい夜だ。」と述べています。

この経験を基に舟歌を作り、メロディアスな曲が出来上がったのでしょう。

ゴンドラのゆったりとした揺れを表す複合拍子や低音の伴奏に乗せた哀愁漂う美しい旋律が特徴です。

なお、セノオ楽譜の『ヴェニスの船歌』の歌詞はインターネット上では公開されていません。

日本での舟唄は労働歌や民謡の中で使われ、船を漕ぐ時や網を引く時などつらい作業の疲れを和らげるために歌われました。

山形県の「最上川舟歌」、広島県の「音戸の舟歌」、「淀川三十石舟唄」が日本の三大舟唄です。

ここでは「舟唄」、「舟歌」+季語で詠まれた句を選びました。

舟歌や水かけろふの岩の淵

角川源義

季語「かけろふ＝陽炎」で三春

艫（ろ）にあはす最上舟唄梅雨あをし

中村翠湖

季語「梅雨」で仲夏

舟唄は男がよろし秋の風

鈴木真砂女

季語「秋の風」で三秋

柳葉魚（ししゃも）漁（と）るアイヌ舟唄雪が降る

野見山朱鳥

季語「柳葉魚」で初冬

私も詠んでみました。

望の潮（もちのしお）音戸舟唄艫（ろ）が撓（しな）る

白井芳雄

季語「望の潮」で仲秋

「望の潮」は中秋の名月（旧暦八月一五日）の大潮のこと。

3. 『蘭燈』



<https://commons.wikimedia.org/wiki/File:TakehisaYumeji-1917-Senowo-Rant%C5%8D.png>

セノオ楽譜『蘭燈』の表紙 1917年 夢二郷土美術館蔵

3. 『蘭燈』

『蘭燈（らんとう）』は長崎を舞台した楽曲です。

夢二が描いた『蘭燈』の表紙には、長崎の異国情緒を感じさせるランタン（蘭燈）や、憂いを含んだ独特な女性（いわゆる「夢二式美人」）が情緒豊かに描かれています。

この楽譜は当時、音楽として演奏するためだけでなく一種のアート（インテリア）としても大変人気がありました。

作曲した本居長世は、のちに『七つの子』や『青い眼の人形』などを手がけた日本歌曲・童謡界の巨匠です。

夢二のセンチメンタルな詩に西洋音楽の技法と日本的な旋律を融合させた美しいメロディーをつけ、当時の若者たちの心をつかみました。

後に「ブルースの女王」と呼ばれた歌手の淡谷のり子も、少女時代にこの楽譜を大切に愛唱していたというエピソードも残っています。

また、NHKの連続テレビ小説（朝ドラ）『エール』では、主人公の古関裕而（劇中では古山裕一）が少年時代にこの『蘭燈』のセノオ楽譜を大切に自室に飾っているシーンが登場し、大正浪漫の象徴的なアイテムとして話題になりました。

2013 年になりますが、夢二生誕 130 周年を記念してリリースされたCD「夢二の歌～セノオ楽譜表紙絵による歌曲集」の冒頭に石田祐華利さんのソプラノ、御園生瞳さんのピアノで『蘭燈』が収録されています。

『蘭燈』の歌詞の一部を掲げておきます

和蘭（おらんだ）屋敷に提灯（ちょうちん）つけば
ロテのお菊さんはいそいそと
羞恥草（はにかみぐさ）は窓の下 と続きます。

YouTube でも鑑賞することができます。

ここでは、「灯り」「燈火」+季語で詠まれた句を選びました。

春の灯に口を開けたる指狐

牧野桂一

季語「春の灯（はるのひ）」で三春

「指狐（ゆびきつね）」は人差し指と小指を立て、残りの 3 本の指でつまむようにして、影絵にすると狐の形になります。

ファドを聴くための暗さや夏灯

片山由美子

季語「夏灯（なつあかり）」で三夏

「ファド（Fado）」は、ポルトガルを代表する伝統的な民謡・大衆音楽です。
ファドの根本にあるのは、ポルトガル語特有の表現である「サウダージ（Saudade）」です。
郷愁、切なさ、愛しさ、失ったものへの思慕など、言葉では一言で表せない複雑な哀愁の感情を意味します。

蘭燈を盆燈籠の如く吊る

後藤比奈夫

季語「盆燈籠」で初秋

盆に先祖を迎える際、その目印として灯（とも）すのが灯籠です。
盆提灯（ぼんちようちん）ともいいます。

子がかへり一寒燈の座が満ちぬ

加藤楸邨

季語「寒燈」で三冬

「寒燈」は冬の寒い時期の灯をさします。

『蘭燈』の表紙絵から私も詠んでみました。

蘭燈を消していざよふ月を待つ

白井芳雄

季語「いざよふ月」で仲秋

主な参考文献、出典：著者 小川晶子

『もっと知りたい竹久夢二 生涯と作品』（東京美術）（2009 年）

ISBN978-4-8087-0839-9 C0071

編者 竹久夢二美術館 石川桂子 谷口朋子

『竹久夢二のおしゃれ読本』（河出書房新社）（2005 年）

ISBN4-309-72744-1

著者 王文萱 翻訳 藤原由希

『竹久夢二の世界 美人画からモダンデザインまで』
（パイインターナショナル）（2024 年）

ISBN978-4-7562-5821-2

編集人 高橋洋二

『別冊太陽 No.20 AUTUMN' 77』（平凡社）（1977 年）

ISBN4-582-92020-9

飯田龍太・稲畑汀子・金子兜太・沢木欣一監修

『カラー版 新日本大歳時記 愛蔵版』（講談社）（2008 年）

ISBN978-4-06-128972-7

茨木和生・宇多喜代子・片山由美子・高野ムツオ・長谷川耀・堀切実編集委員

『新版 角川俳句大歳時記 春』（KADOKAWA）（2022 年）

ISBN978-4-04-400504-7 C0392

茨木和生・宇多喜代子・片山由美子・高野ムツオ・長谷川耀・堀切実編集委員

『新版 角川俳句大歳時記 夏』（KADOKAWA）（2022 年）

ISBN978-4-04-400499-6 C0392

茨木和生・宇多喜代子・片山由美子・高野ムツオ・長谷川耀・堀切実編集委員

『新版 角川俳句大歳時記 秋』（KADOKAWA）（2022 年）

ISBN978-4-04-400500-9 C0392

茨木和生・宇多喜代子・片山由美子・高野ムツオ・長谷川耀・堀切実編集委員

『新版 角川俳句大歳時記 冬』（KADOKAWA）（2022 年）

ISBN978-4-04-400502-3 C0392

参考サイト：フリー百科事典ウィキペディア (Wikipedia)

最後までお読みいただきありがとうございました。

(株)技術情報センター メルマガ担当 白井芳雄

株式会社 技術情報センター 〒 530-0038 大阪市北区紅梅町 2-18 南森町共同ビル 3 F

TEL : 06-6358-0141 FAX : 06-6358-0134 E-mail : info@tic-co.com